

コロナ禍の保育園 理事長 大浦 純平



ここ4ヶ月、コロナ感染拡大という未曾有の状況が続いています。現在まで保護者の方の感染例が若干あるものの、園児・職員の感染は免れています。これから先、どのような事態になるのかは全く予想ができません。

最近、匿名のメールで「このような時なのに開園をするとは何か」とお叱りを受けました。しかし、保育はエッセンシャルワークと位置付けられ、「人々が日常生活を送る上で欠かさない仕事」とされており、国及び地方公共団体からは出来る限りの開園を要請されています。休園となるのは「園児」や「職員」の感染があった場合、市町村の判断で休園の決定をした時となります。

とは言え、園内でクラスターが発生しては本末転倒です。そのため、登園前の検温、登園時の消毒、保育中の多くの場面での手洗いやうがい等の徹底を心掛けながら保育を実施しています。保育者たちは頑張っています。

勿論、予定していた行事等についても内容を吟味して必要最小限の開催をしたり、止む無く中止したりしています。子どもたちの成長を確認できる良い機会である行事の変更は保育士にとっても辛いものがありますがこの状況では致し方ありません。

..... 一日も早い収束を心から願うばかりです。

ホームページ(HP)のリニューアル www.hojinkai.ed.jp

今回、輔仁会のHPが新しくなりました。法人広報委員会の手により、3代目のHPは新技術を駆使した見栄えの良いものができたと思っています。今後、情報発信が充実され、入園や就職の際に広く利用され、保護者の皆さんに園生活の情報を発信できれば良いと考えます。

思い起こせば、1997年(平成9年)にHPが流行の兆しを見せ始めたころ、私が技術的な知識もないまま、資料をかき集めて何とか作って公開したのが第一歩でした。続いて、2005年(平成17年)には「輔仁会三園のHP」として情報を発信するようになりました。

そして、今回のリニューアルで最新のテクノロジーを駆使したHPが誕生したのです。より見やすく、快適に利用できるWEBサイトを目指し、デザイン・構成とも一新しました。また、当法人の考え方をより深くご理解いただけるよう、目指す保育について三園のページで「大切にしていること」として掲載しています。

担当の委員会ではその実践を日々のブログに綴り、さらにインスタグラムを使ってより多くの方に見ていただけるよう情報発信に努めると張り切っています。

手探りで始めてから23年、今回のリニューアルは感慨深いものがあります。



新宮つばみ保育園年報

第10号

2020年(令和2年)8月24日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
新宮つばみ保育園

〒811-0124 糟屋郡新宮町新宮東5-1-18
<http://www.hojinkai.ed.jp/s-tsubomi/>



二〇二〇年二月下旬を境に、当たり前と思っていた日常が一変してしまいました。緊急事態宣言が解除された後に提案された新しい生活様式なるものを見ると、手洗いや消毒は当然ですが、人ととの距離をとる、会話は真正面を避ける、3密を避ける、などまるで人とは親密に関わるな、と言われているようです。親子の間で密接という関係が絶対に必要であるのと同じく、保育園でも子どもとの間の密接な状況は年齢が低いほど必要であり、現場の職員は懸命に

「生活様式」に思うこと

統括次長 大浦まゆみ

人々が集って大きな声を出すことを避けよということ。うたを聴く、歌うことから始まる音楽の楽しさを

保育を行っています。また、私が悲しく思うのは、保育士が思い切りうたを歌えないこと。

子どもたちに伝えたい、美しいハーモニを聴かせてやりたいのに、マスク越しではかきません。せめて子どもたちだけは、並び方を工夫して、変わらぬ歌つてほしいと思います。

この状況の中でも、今までと同様に子どもたちは笑顔を見せ、日々成長を持っています。希望を持って、子どもたちから信頼される保育を続けていきたいと思えます。



子どもたちの大切な思い出

2020年度 父母の会 会長 大沼 悟



今年の夏も厳しい暑さが続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。先日は、暑い中子供たちが楽しく遊べる様に、プールの設営が行われました。ご協力頂いた皆さま、お忙しい中本当にありがとうございます。

今年はコロナの影響もあり、いつも通りとは言えない状態が続いております。そんな中、青組さんのお泊まり保育も中止になってしまうのではないかと心配しておりましたが、徹底したコロナ感染対策の上で、『夜までワクワク保育園』という形で実施されました。

私の息子も参加させて頂きましたが、とても楽しかった様で、帰り道ではどんなに楽しかったのかをたくさん話して聞かせてくれました。

子供たちに大切な思い出を作ってくれ、先生方にはとても感謝しております。

9月にはボランティア清掃を予定しております。コロナ感染対策を行いながら、いつもお世話になっている保育園に感謝しつつ、子供たちがこれからも綺麗な保育園で楽しく過ごせる様に、皆様にもご協力をお願いしたいと思っております。お忙しいとは思いますが、是非参加頂きます様、お願い致します。

今後のイベントにつきましても、どの様になっていくかわからず、不安な想いもあるかと思いますが、父母の会役員一同、出来る事を精一杯やっつけていきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願い致します。

今年よりサイズをA3判からA4判に縮小します

ホームページのリニューアルにより各園の発信する情報量も増えましたのでコンパクトにすることに致しました。また、年報は従来通りホームページにアップします。

花のある生活

園長 藤井 由理



昨年スリーパーアーズのカバのオブジェがもも組園庭拡張工事の時に移動したのは皆さんご存知でしょうか？それと同時にカバのオブジェの足元に花壇を作りました。そして保育園前の歩道並木の下にも通る人たちに目にも入るような花を植えました。こんな風に子どもたちの周りに花がある環境はいいものです。ある日こんな事がありました。

保育園に歩いて来る途中見つけた小さな花を握りしめ登園してきた子がいました。そしてその子は小さな花を担任に嬉しそうに差し出してプレゼントしました。大事にしつかり握りしめていたの

でしよう花は少ししおれてくつたつとしていましたが、後でその子のクラスに行く担任保育士は小さな花瓶にその花をいけてお部屋に飾っていたのです。きっとその子は先生を喜ばせたくてお花を摘んだのでしょう。そして保育士はその子の気持が嬉しくて花を飾ったのでしょう。花にまつわる小さなエピソードですが、私にとって気持ちが温かくなる出来事でした。

現在新型コロナウイルスの影響で殺菌消毒を促し、感染予防のため保育園内はいつも以上に衛生管理には気を使っています。コロナウイルスのせいで不安な状況

コロナ感染予防のために子どもたちに禁止や規制することが多いこの時代だからこそ花のある環境を心掛け、穏やかで優しい気持ちで過ごしてくれる事を願っています。

「広がる地域との交流」

地域交流会/小学生との交流/わくわくキッチン/わくわくふくし体験

新しいマンションが建ち並び、人口が増え、どんどん発展する新宮町。そんな中に在る新宮つばみ保育園ですが、すでに開園して14年が経ち、現在ではずいぶん地域に根付いてきていると感じます。



● 毎年12月に、地域の老人クラブの方々をお招きして**地域交流会**を開催しています。保育園の中でおじちゃんおばあちゃんと一緒に昔ながらのあそびをしたり、一緒におやつを食べたりして楽しいひと時を過ごしています。自分のおじちゃんおばあちゃんは遠く離れて暮らしていて、お年寄りの方と触れ合う機会がない子もいます。お年寄りの方と触れ合う貴重な体験を

大事にしていきたいと思えます。

● 小学校への入学を前に5歳児は、新宮東小学校の**小学生との交流会**も行っています。5年生のお兄さんお姉さんが保育園にお迎えに来て、小学校に連れて行ってくれます。毎回楽しいことを企画してくれて、子ども達は小学生になることへの期待を膨らませます。

● そして、昨年度の夏は、新宮町の法人連絡会が主催する**わくわくキッチン**という取り組みに参加しました。地域の福祉施設の皆さんと共に公民館で、小学生から中学生の子どもたちと災害時にも使える調理法でクッキングをしました。私達の担当は、小学校低学年の子ども達と一緒に、地域の高齢者の方をおもてなしをするため、部屋を飾り付けたり箸袋を作ったりして食事の環境を作ることでした。中学生になった卒園児も参加していて、立派に自分の意見を言う姿を見ることが出来て嬉しかったです。



● また、社会福祉協議会では、**わくわくふくし体験**という体験活動も行っており、3名の卒園児が新宮つばみ保育園での保育士体験に参加してきました。

● 近年このように地域の方々との活動が広がり、子ども達の体験にも繋がる大切な機会が増えました。新宮つばみ保育園が子育てに関わる新宮町の一員であること、そして皆さんと共に助け合っ

て歩んでいけることを大変嬉しく思います。これからも地域に貢献し、地域から愛される新宮つばみ保育園を目指して努力したいと思います。(主任保育士 中岡 千晶)

2020年度 職員構成 (8月5日現在 44名)

園長 藤井 由理

本園

事務長	大浦有平
主任	中岡 千晶
副主任	中村 千里
給食主任	小祿 由香利
もも1	和田 晴香・今泉 朱香 増丸 伴美・宿利 晴子
もも2	中村 千里(*)・大賀 桃花 村上 沙希・山口 恵子
うめ	鳥 世季香・坂田 桃花 矢野 省子
すみれ	佐野 真弓
れんげ	土谷 賢吾
つくし	稲田 有希
わらび	岡本 理

フリー	永末 映里・桂 美沙紀 日野 純子・馬場 小純 神谷 晴子・片岡 真理子 成清 千尋
給食員	小祿 由香利(*)・桐島 知子 脇谷 浩美・則本 由美子 徳永 まゆみ・石川 藤子 松田 知視
事務員	山口 和加奈
保育補助	生垣 直美
用務員	内野 和喜・長野 よし子

分園主任	中村 紘子
もも1	中村 紘子(*)・北村 知子
もも2	阿部 麻央・佐藤 明美
うめ	天本 うらら・吉富 美緒
フリー	長野 美由喜 多以良 すみ子・山崎 有紀

(*)は再掲

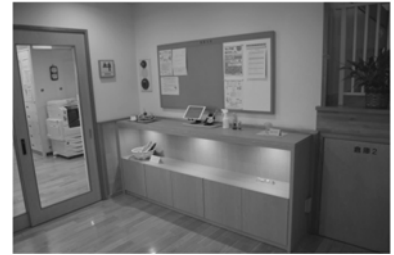
2020年度 父母の会役員

会長 大沼 悟(れんげ)

副会長	山本 久嗣 (すみれ)	小川 康明 (すみれ)	
会計	占部 大貴 (うめ)		
運営委員長	阿部 浩之 (つくし)		
監事	内匠 瞳 (わらび)	井谷 朋子 (わらび)	
委員	稲田 鮎美 (もも1)	柳田 千春 (もも2)	
	柳田 千春 (うめ)	鍋島 美佐紀 (うめ)	
	森川 俊亮 (うめ)	大嶋 大輔 (すみれ)	
	竹場 深雪 (すみれ)	永園 侑紀 (れんげ)	
	古賀 久美 (れんげ)	只松 美穂 (つくし)	
	山口 友美 (つくし)	松藤 英和 (わらび)	
	工藤 香奈恵 (わらび)		
	顧問	石川 近衛	

玄関周りの改修工事

以前は園舎とマンションの間を吹き抜ける強風により、玄関のドアが閉まらなかつたり壊れたりすることが多くありました。強風対策に加えて、保護者の皆さんの利用しやすさを考え、自動ドアを設置しました。ポタリ一つで開閉するので、過明けや週末にお布団などたくさん荷物を抱えている保護者の方からも「助かります」という声を多くいただきました。



さらに、8月には事務室前にディスプレイ棚を設置しました。ディスプレイ棚の上には毎日きれいな花が生けられており、心が安らぎます。育てた夏野菜を収穫した日は、ディスプレイ棚に置いて、見て頂いています。また、子どもたちがお部屋で作った作品も飾っていて、出来上がった作品にタイトルをつけて、出来上がった作品にタイトルをつけて来てくれます。そして、毎日降園時には一日の子ども姿をスライドショーでみることも出来るようタブレットを設置しています。

(保育士 土谷 賢吾)

もも組の園庭

昨年の7月にもも組の園庭拡張工事が行われました。そもそもこの工事はわらび組のガラスブロックを通して入る直射日光や反射熱を和らげるため地面を芝生にする工事だったのですが、結果的にもも組の園庭が広くなりました。園庭には砂場も出来たので、砂遊びや広い場所でのボール遊びなどももも組の遊びが充実してきました。



春には桜の木から舞い散る花びらを手にとり取ったり、夏には水遊びやシャボン玉、ネリコの木にとまる蝉を捕まえて観察したりと季節を感じながら遊んでいます。もも1組の赤ちゃんたちも初めは芝生の感触に戸惑っていましたが、芝生にシートを敷いて日向ぼっこなどをすると、興味を持って触ったり裸足のまま歩こうとしたりしています。また、もも1組の園庭は道路に面している部分が増えたこともあり、日中は近所の方が「可愛いね」と声を掛けて下さったり、夕方には下校中の小学生が「赤ちゃんたちバイバイ」と手を振ってくれたりして園外の方との関わりも増えました。今後は芝生の感触や砂・水の感触を存分に味わい、季節毎に色々なあそびを楽しみたいと思っています。(副主任保育士 中村 千里)

園内研修を受けて

昨年の6月に作業療法士・特別支援教育士の豊島真弓先生をお迎えして「子どもの苦手な手を補う支援」をテーマに園内研修を行いました。研修では苦手がちなことや環境作りの特徴や配慮の仕方、苦手を補うために準備する有効な道具や環境作りの仕方を学びました。子どもは一人ひとり違って、それぞれに得意なことや苦手なことがあります。得意なことは伸ばして、苦手なことを補っていくのが保育士の務めだと思います。その苦手な部分の特徴を捉え、簡単な道具を使い的確に支援をして、出来ることを増やしたり自信にしたりすることが出来るようになりそうです。



今後は研修で学んだことを頭に置き、時には参考資料を読み返しながら、子どもたち一人ひとりに関わっていきたいと思います。職員同士で情報を共有しながら子どもたちのことを知っていく、みんなが同じように一人ひとりの子に関わっていくことが出来るようにしたいと思います。(分園主任保育士 中村 紘子)